

令和2年度協会支援事業助成団体・活動紹介（ボランティア活動支援事業事業）

● 野良猫もみな、家族だよ（札幌市）

事業の実施概要・活動成果

訳ありの生活保護家庭から、成猫8匹と子猫21匹、合計29匹の猫を保護しました。その後、先天性異常を持つ子猫1匹を施設で保護した以外は、残りの18匹を新しい里親様に引き渡すことができました。



● 小野幌エコクリーン（札幌市）

事業の実施概要・活動成果

子供たちが始めたエコな事業です。子供たちの意欲により、サポーターの大人たちも協力して堆肥や野菜の栽培に挑戦しました。コロナ禍の影響もありましたが、作業を分散して実施し、夏から秋にかけて野菜を収穫することができました。

その結果、家庭ゴミの減量と地球温暖化防止への貢献が実現しました。また、自家製野菜の栽培により、地産地消の促進やプラスチック使用の削減、運送費によるCO2排出量の低減といった効果も得られました。今後も、SDGsの実践を継続する意向です。



● さっぽろ将棋普及の会（札幌市）

事業の実施概要・活動成果

新型コロナウイルスの影響で中止となったイベントについて、メールやLINEでの連絡が困難な参加者にはお手紙で連絡し、チラシを郵送することで多数の参加者を集めることができました。小学生だけでなく地域の大人も参加し、多世代交流の場が生まれました。今後も互いを尊重し合える場として、来年度も開催したいと考えています。



● 特定非営利活動法人 チャイルドラインほっかいどう（札幌市）

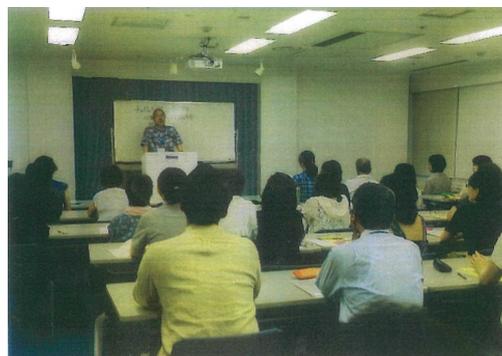
事業の実施概要・活動成果

新型コロナウイルスの影響により、養成研修が延期され、受講回数が8回に短縮されました。

しかし、募集期間中には20人からの問い合わせがあり、その中から9人が受講し、全てZOOMを用いたオンライン会議で実施しました。

研修期間の短縮とオンライン実施により、受講者との意思疎通に不安がありましたが、講師と受講者の熱意により、予定通り12月に研修を終了することができました。

なお、省かれた研修は次回の養成研修で受講できるようになりました。



● 稲積連合町内会（札幌市）

2020年5月16日には、21名が花苗の移植作業を行い、その後2020年6月13日から9月26日までの間、計8回にわたり花壇の維持管理を行いました。最後に、2020年10月24日には24名が参加して花壇の整理作業を行いました。



● 特定非営利活動法人 セカンドチャンス!Sapporo（札幌市）

事業の実施概要・活動成果

「記憶」札幌上映会では、上映の他に監督とゲストのトークショーの時間を設け、映画に出てくる話以外の少年院出所者の家庭環境などについても語られ、参加者は映画製作の趣旨をより理解いただくことができました。

会場参加費を無料としたため、関係する業種の方だけでなく、一般企業の方やご高齢の方など、さまざまな参加者が集まりました。

参加者からは「素晴らしい」「また開催してください」といった感想をいただきました。



● まちフェス実行委員会（道央圏 石狩市）

● 事業の実施概要・活動成果

石狩市内の全ての小学校児童にマスクを寄贈する「マスクプロジェクト」に、賛同していただいた皆様のおかげで、10月20日に市教育委員会に寄贈し、児童への配布が実現しました。

マスクの制作においては、感染者数の増減を注視しながら、ソーシャルディスタンスなどの対策を遵守しながら集まりました

また、各家庭、事業所、高校などからの協力もいただきました。



● とりっこ（道央圏 寿都町）

● 事業の実施概要・活動成果

地域の子どもたちと保護者は、ボランティア活動や地域行事を通じて、子ども達の健全な成長を促し、子育て世代の親子間の交流を図ることができました。

また、地域行事を通じて、幅広く町民と子供たちとの交流を深めることができ、地域に元気を生み出すとともに、笑顔を広めることができました。



● 泊村職員退職者親睦会（道央圏 泊村）

● 事業の実施概要・活動成果

老人クラブの一環として、約15人の送迎困難な会員に無償の送迎サービスを提供しています。

2人のボランティアが安全と体調管理に配慮し、緊急時に備えて活動しています。

令和2年から令和3年3月までの期間で、30人以上の会員に送迎サービスを提供し、感謝の声を多くいただきました。ボランティアは送迎だけでなく、楽しい時間を提供するためにゲームなどの企画も行っています。将来的にはボランティア活動の拡大や地域のボランティア活動の推進につながる「ボランティアポイント事業」の検討を予定しています。



● サロン Moto 若妻会（道央圏 岩見沢市）

事業の実施概要・活動成果

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、予定していたサロンは10月に1回のみの実施となりました。

開催に先立ち、感染予防対策として消毒液の設置や手指・イス・テーブルの消毒、体温測定、マスクの着用、テーブルの配置、換気などのシミュレーションを行いました。

当日はソーシャルディスタンスを保ちながら、ゲームなどを楽しみ、無事に終了しました。久しぶりの再会で参加者の皆様が笑顔を見せ、サロンの重要性を再認識しました。

今後も毎月、安全にサロンを開催するために、お便りの作成を継続し検討していき



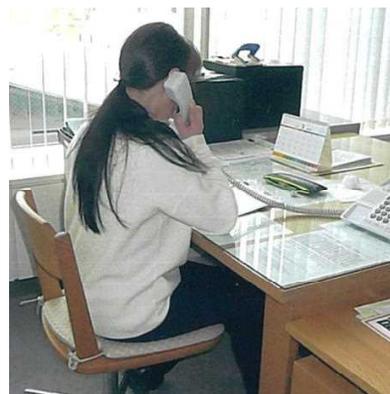
● 岩見沢家庭生活カウンセラークラブ（道央圏 岩見沢市）

事業の実施概要・活動成果

今年度、当クラブの活動は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、予定していた講演会は中止となり、相談業務は面接相談を見合わせ、電話相談のみに変更しました。また、相談に欠かせない研修会も縮小されました。

例年実施している高齢者施設訪問は休止となり、ボランティア活動では次回の訪問に向けて、マスクを着用しながらコーラス練習や絵本の朗読の練習を行いましたが、11月以降の感染拡大により現在は休止状態です。

高齢者の方々からは、訪問を心待ちにしているとのお声をいただいております、再会を楽しみにしています。



● 三笠手話の会「うさぎの会」（道央圏 三笠市）

事業の実施概要・活動成果

令和3年1月6日には図書館特別企画として、令和2年8月5日と令和3年1月29日にはまつばの杜の誕生会で手話による絵本の読み聞かせを実施しました。読み聞かせでは手話と身振りを使い、子どもたちが自然に楽しめるよう工夫しています。また、手話に興味を持ってもらうために、手話のあいさつなどの短い講座も開催しています。

読み聞かせが終わった後には、「この手話は何?」といった興味が生まれているようです。また、手話が聴覚に制約のある人々にとって重要なコミュニケーション手段であることも必ず説明しています。



● 砂川レイクサイドの会（道央圏 砂川市）

事業の実施概要・活動成果

今年は、一般の方2名と高校生作業員2名が新たに参加し、総勢15名での活動を開始しました。作業は4月初めに桜の木の手入れや枝切りからスタートしました。

4月27日には遊水池の特定の場所に長年たまったごみが景観上好ましくないことから、初めて遊水池のごみ拾いを開始しました。

また、今年はプラスチックごみのポイ捨てが非常に多かったため、クリーンアップ作戦を3回実施しました。

今後も地域資源を活用し、地域の高齢者の方々が生きがいや使命感を持ち、少しでも社会に貢献できる余生を活かす取り組みを進めていきたいと考えています。



● ふか LDK（道央圏 深川市）

事業の実施概要・活動成果

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内の飲食店を支援するため、「ふかがわお家ご飯」という Facebook のグループページを開設しました。

登録者数は現在384人で、テイクアウトや出前の情報を集約し、飲食店の消費拡大を促すことを目的としています。

さらに、インターネットや SNS を利用しない層にも情報を届けるために、紙媒体の PR 活動も行いました。

この活動により、飲食店の日々の努力やテイクアウトメニューの開発などが広く知られるようになりました。また、一般の人々からの投稿も増え、市内の飲食店を応援する輪が広がりました。

ふか LDK と市内の飲食店とのつながりを築くことも成果の一つであり、今後は他の業種においても応援の輪を広げていく意向です。



● 由仁町東栄サロン運営委員会（道央圏 由仁町）

事業の実施概要・活動成果

今年度は、町内での「新型コロナウイルス」の感染防止対策の強化と自粛要請等によって参加者に「3密」回避やうがい・手指の消毒を条件に、「ふまねっと健康教室」を通常の日程で再開しました。

感染防止の観点から一部の参加自粛もあり、少ない人数で実施しましたが、外出先での共通の運動を通じて「つながり」の場を提供してくれたことに対する参加者から感謝の言葉があり、大いに励まされました。

「コロナ禍」の影響もあり、今年度は、「ふまねっと健康教室」は4月から3月までの間に12回実施し、参加者数は272名、「パークゴルフ」は7月から11月までの間に5回実施し、参加者数は89名となりました。



● おおたき新聞くらぶ（道央圏 伊達市）

事業の実施概要・活動成果

「おおたき新聞くらぶ」は、令和2年4月から令和3年3月まで、毎月1回のペースでフリーペーパーを発行しました。

私たちは「防災」をテーマに、住民の視点からまちづくり活動を行っています。私たちの合い言葉は「普段のつながりがいざという時の力になる」というものであり、住民同士の目に見える関係を構築し、関係人口を拡大するために、「人と人をつなぐ」活動を主としてフリーペーパーの発行を通じて取り組んでいます。

コロナの影響で、お祭りイベントの企画や防災訓練など、住民同士の親睦を深める活動は今年では行えませんでした。しかし、その代わりにオンラインを通じて広範な地域の方々とつながり、私たちの防災取り組みや地域の情報を発信する機会を得ることができました。

● 特定非営利活動法人 有珠山周辺地域ジオパーク友の会（道央圏 壮瞥町）

事業の実施概要・活動成果

新型コロナウイルス感染症対策と熊の目撃情報により、四十三山道歩道の枝打ち作業が中止となりました。

昭和新山沼展望台では、ジオサイトの草刈り作業が広報車の「熊出没」周知活動の中、20人が参加し行ないました。オロフレ山では環境省との協力で、笹の繁茂した登山道でロープ張り作業を実施。洞爺湖中島の西山では倒木による廃道寸



前の箇所に立ち入り、ジオツアーの下見やロープの設置が行いました。

会員はマスク着用とソーシャルディスタンスを守りながら活動し、ジオサイトの整備を実現しました。

● 絵本の玉手箱（道央圏 洞爺湖町）

事業の実施概要・活動成果

私たちは、子どもたちに絵本の素晴らしさや季節の美しさを感じ、心豊かに子育てをすることを願って活動しています。

今年は新型コロナウイルスの影響で事業の実施を諦めなければならない状況でしたが、感染予防策を徹底し、夏祭りやハロウィンイベントを行いました。

子どもたちは絵本の読み聞かせやスライド、ペープサートなどに静かに真剣に聞き入っていました。また、ゲームなどにも大いに盛り上がり、家に帰ってからも挑戦して喜んで帰りました。季節の行事を楽しみ、集中してお話を聞く（落ち着きを持つ）姿勢が身についたと思います。



● NPO 法人 シーズネット函館支部（道南圏 函館市）

事業の実施概要・活動成果

幅広い高齢者への普及を目指し、積極的な呼びかけを行いました。今年も新型コロナウイルス禍のため出席者が少なくなりました。しかし、出席者には適度な運動や脳活性化の勉強会などを提供し、運動機能低下と認知機能低下の予防に役立つと考えています。出席者からも賞賛の声が寄せられ、実施の意義を実感しました。



● 函館朗読奉仕会（道南圏 函館市）

事業概要・活動成果

【事業の実施概要】

1. 講演

函館市中央図書館館長が子母澤寛について講演しました。「子母澤寛の描いた箱館戦争」と題し、子母澤作品の魅力を紹介。祖父の戦争参加や親族へのインタビューを通じて、彼の時代をテーマにした作品について説明しました。

2. 朗読

「花の雨」という歴史小説の朗読会を開催しました。講演者が朗読用の脚本を執筆し、



函館朗読奉仕会のメンバーと講談師・落語家が出演しました。大型スクリーンには所蔵の写真や資料が映し出され、音楽資料も使用して臨場感を演出しました。

【活動成果】

入場者は70名で、一部の人に整理券が渡らず申し訳なかったです。函館戦争と子母澤寛について再認識し、人物像も理解を深め、市民にとって楽しい講演会・朗読会となり、有意義な時間を過ごしていただけたと思います。

● さわやかミドルの会（道南圏 函館市）

事業概要・活動成果

- 当会のボランティア部とカラオケクラブは、函館市内と近郊の高齢者施設でカラオケ教室や慰問活動を実施しました。
- 日本赤十字社の赤い羽根共同募金活動に参加しました。
- 函館市ボランティア協議会などの行事において、お手伝いをしました。
- ペットボトルのキャップを回収しました。



● 一般社団法人 とかちシニアサポート協会（十勝圏 帯広市）

事業概要・活動成果

令和2年度の活動については、コロナ禍の影響により一部の活動が中止や延期となりましたが、大部分は予定通りに実施できました。

活動内容は、終活講座7回、介護予防30回、健康吹矢62回などで、延べ300名の参加者がありました（計画の150%達成）。

活動の成果としては、コロナ禍において様々なサークルやイベントが中止され、外出を自粛する状況下で、特に高齢者は運動不足や生活リズムの変化などによる健康への懸念がありました。

そうした中で、私たちの活動により外出や人との交流の機会を提供できたことで、参加者の方々に喜んでいただけたことが成果と言えます。



● カフェ・ボランティア・スマイルシーズ（十勝圏 帯広市）

事業概要・活動成果

コロナ禍の影響により予定していた回数を実現できませんでしたでしたが、児童施設ではチェロ奏者の演奏や手品などで楽しい時間を提供しました。

福祉施設では、ギターとキーボードの伴奏に合わせて懐メロの歌を歌っていただき、参加者の方々が若い頃を思い出し、喜んで一緒に口ずさんでくれました。今後はさらに活動の幅を広げ、笑顔と共にコーヒーや音楽を提供し、多くの方々に喜んでいただけるように取り組んでいきたいと考えています。



● 千畳敷自然を守る会（十勝圏 音更町）

事業概要・活動成果

- 千畳池の老朽化に伴う藻の除去作業を実施しました。
- 千畳敷公園でのゴミ拾い活動を実施しました。
- 千畳池周辺の巡回を行い、野鳥やリスなどの保護に取り組みました。
- カワアイサの誘導と野鳥の調査を実施しました。
- 町の鳥に指定されるための参考資料として説明し、一部が採択されました。
- 啓発活動として会員証の発行や千畳敷自然を守る会のニュース新聞の発行を行いました。



● 車椅子ダンスサークル ひまわり（十勝圏 幕別町）

事業概要・活動成果

北海道の施設では、「新北海道スタイル」をテーマに身近な問題を説明し、参加者に意識改革の機会を提供しました。高齢者向けの椅子体操や棒サッカーゲームなどのレクリエーションが行われ、特にフェースシールド作り体験が人気でした。施設訪問制限の中で車椅子ダンスの練習日をフェースシールド作りに充てる提案も出されました。ボランティア支援事業の補助金を受け、通常ではできない活動が実施され、会員たちは喜んでいました。施設に入居している人々は外出規制のため参加できなかったが、早くコロナが終息し、再び顔を見せてもらえることを願っています。



● なかしべつ町民活動ネットワーク（釧路・根室圏 中標津町）

事業概要・活動成果

中標津町では新型コロナウイルス感染症や自然災害の影響で対面対話が困難な状況でも、オンラインを活用したボランティア活動を支援しました。具体的にはオンラインツールの設定指導や協働対話の場づくり支援を行いました。町内のコミュニティカフェやオンライン体験講座の実施、町民活動団体や行政・学校のオンライン活動支援も行われました。



困難に直面する団体に対しても解決策の提案が行われ、対話を重視した協働のまちづくりが進められました。次年度も短期的な目標を設定し、対話を重視した活動を通じてまちづくりを推進していく予定です。

● mamaconcierge Wednesday（道北圏 旭川市）

事業概要・活動成果

新型コロナウイルスの制限下で、子育て中の母親たちは社会的に孤立しやすい状況にあります。この状況を考慮し、感染対策に重点を置きながら、毎週水曜日の開館を継続して、居場所を提供しました。この取り組みにより、来館者同士が安全な場でつながる機会を提供できました。

また、少人数制のイベント、例えばバースデーパーティーを開催することで、親戚や友人同士が集まりにくい状況でも、安心して誕生日を祝う環境を提供できました。これにより、親子の外出制限によるストレスを軽減することができました。



● 士別バルーンアート研究会（道北圏 士別市）

事業概要・活動成果

今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、多くのイベントが中止され、予定されていた活動が実施できない状況でした。しかし、状況が落ち着いた時期に、児童館で子供たちと明るく交流する活動を実施することができました。この活動は非常に意義深いものでした。



なお、会員や参加者の体調管理とソーシャルディスタンスの確保に注意しながら、安全に実施しました。

活動実施の詳細は以下の通りです：

- 10月17日（土）：あけぼの児童館 13:30～15:00 参加者数：14名
- 10月24日（土）：北斗児童館 13:30～15:00 参加者数：16名

● 本町住民会ふれあいサロン 本町四つ葉友の会（道北圏 上富良野町）

事業概要・活動成果

人生100歳時代と言われる現代において、老人クラブの活動も多様化し、趣味などを通じた健康維持と社会的な活動が求められています。

そのためには、自助、互助、共助の価値観とそれに向けた努力が必要です。また、伝統芸能の継承をサークル活動として取り入れ、剣玉を地域に根付かせる先駆的な役割を果たすために、指導者の育成と普及活動を行っています。

さらに、新型コロナウイルス感染防止策として、自宅での練習や剣玉教室の実施も行っています。



● 高齢者元気会（道北圏 下川町）

事業の実施概要・活動成果

田舎での活動では、不審者の出現による安全と防犯の両面を考慮しています。警察の情報を基に、危険な公衆トイレを監視しました。また、市街地では33～4人の会員がグループを組んで町内を巡回し、ゴミや缶を拾いながらパトロールしました。特に10月には懐中電灯を持ちながら河川敷なども詳細に巡回しました。

地域の人々や学校から感謝の言葉をいただき、会員たちは今後も継続していきます。



● オホーツク相撲連盟（オホーツク圏 津別町）

事業の実施概要・活動成果

今回、公益財団法人北海道地域活動振興協会の協力を得て、子どもちゃんこ食堂と健康促進のための子ども相撲教室を開催しました。

新型コロナウイルスの影響で、相撲教室は主に親子での対戦形式となりましたが、参加者の皆さんに大いに楽しんでいただけました。軽い運動の後には、地元の野菜や手作りの豆腐などを使用したちゃんこ鍋を提供しました。

この活動は相撲連盟のボランティア活動の一環であり、地域の皆さんに喜んでいただき、多くの方との交流を図ることができました。

